

患者氏名： _____ 様

入院病棟： _____ 病棟

主治医： _____

受け持ち看護師： _____

No1 / 1

	入院日	手術前日	手術当日	術後1日目～3日目	術後4日目～9日目	術後10日目	術後11日目～14日目	術後15日目～21日目	術後22日目～28日目（退院日）
目標 毎日看護師と評価します	・手術や術後の経過に対する不安や疑問を表出できる		・症状の悪化がない ・痛みがコントロールできる	・ギャッチアップ30～60度で食事摂取ができる ・離床できる ・排液が減少しドレーンが抜去できる ・車椅子でトイレに行くことができる		・創の抜糸ができる ・車椅子でトイレに行くことができる		・カラーを装着し歩行器または独歩で活動できる	・完全に独歩で歩行できる ・退院に向けて準備ができる
内服注射	・手術日の内服薬は麻酔科医指示となります		・食事、水分がとれなければ、点滴を続けます 抗生剤点滴： 手術中・手術後	抗生剤点滴 					退院基準 ・症状のコントロールができています
検査			・手術後： レントゲン・採血  		・術後7日・14日頃にレントゲン検査があります 				
治療処置				・ドレーン（傷の場所に入っている管）の量によってドレーンを抜けます ・ドレーンを抜いた翌日に消毒します ・以後月・水・金とシャワー前後に消毒します	・術後10日目頃に抜糸 				
食事飲水		・食事・飲水の中止は麻酔科医師からの指示があります	・朝食・昼食禁止 ※帰宅後、腸の動きを確認してから飲水、食事を開始します	・手の動きによって おにぎりにしたり、食事内容を変更します					
清潔		・手術前日は必ずシャワー浴をして下さい 		・温タオルで体を拭きます ・尿を排泄する管が入っている場合、感染予防のため洗浄させていただきます ・ドレーンが抜けた翌日から、傷を覆ってシャワーに入れます 	抜糸の翌日からシャワー浴ができます 				
排泄			・尿を排泄する管が入ってきます	・車椅子や歩行器で移動できるようになったら、尿を排泄する管を抜いてトイレに行くことができます 					
安静活動	・制限なし		・必要時カラーを装着します	・1日中カラーを装着しますが、痛みに応じて車椅子か歩行器歩行ができます ・痛みが強くなれば自力で歩行できます					
リハビリ			・必要時リハビリがあります ・車椅子か歩行器で移動できるようになったらリハビリ室でのリハビリを行います						
説明指導	・入院生活について説明します ・必要時、使用するカラー合わせをします ・ストロー付きのコップとT字帯を1～2枚ご準備ください	・主治医・麻酔科医・手術室看護師・病棟看護師から手術の説明をします 		・安静度についての注意点の説明があります				・医師・看護師から退院後の生活についての説明があります	

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります